

コンベンション誘致の現状と実績について

1 現状

平成20年4月に商工観光部を経済部と観光コンベンション部の2部に機構を見直すとともに、コンベンション推進課を新設し、主に市がコンベンション誘致を、函館国際観光コンベンション協会が受入れ支援を担当することとし、両者が互いに連携してコンベンション開催実績の向上を図られるよう取組を開始した。

(1) 誘致活動の状況

- ・ 地元の業界団体および大学等の高等教育機関への訪問をはじめ、首都圏、道央圏のコンベンション開催事務局・支部に誘致活動を展開し、キーパーソンとの人脈づくり、情報の収集を図るとともに、函館国際観光コンベンション協会のホームページ上で、市民へ情報提供するほか、情報のネットワークを構築している。
(平成20年度、延べ訪問件数：301件/ 訪問団体・大学の実数 232団体)
- ・ 道内5都市全体(札幌・旭川・釧路・北見・函館)での東京商談会やIME(国際ミーティング・エキスポ)への参加を通じ、函館市開催をプロモーションするほか、フォローアップを行っている。
- ・ コンベンション・データベース(JCCB発行)を活用し、北海道開催が見込まれる大会・学会事務局や北海道支部への誘致訪問活動を展開している。

(2) 函館コンベンションガイドの刷新

函館市や道南を含めたコンベンション施設のガイドブックを函館国際観光コンベンション協会と共同で作成し、誘致の際のセールスツールとして活用するとともに、関係先への配布をした。

(3) 大会補助金の拡充

平成21年4月より、補助基準を見直し、本市への各種会議・大会・学会等のコンベンション誘致に活用するとともに、コンベンション主催者への円滑な開催支援に役立ててもらうことを目的とした。

2 主な実績

開催予定	大会名	開催規模
平成21年7月	CSAJ(コンピューソフトウェア協会)	約 60人
平成21年10月	日本食品衛生学会	約 800人
平成22年9月	電気工事組合全国大会	約 2,000人
平成22年9月	日本油化学会	約 600人
平成22年10月	日本写真測量学会	約 100人
平成23年9月	情報科学系の大会(内定)	約 1,800人

過去3年間のコンベンション開催実績は、別紙のとおり